

# 地域内交通実証実験

## ○事業目的

市内の公共交通不便地域の解消を目的とする。公共交通を中心とした交通ネットワークの実現を目指し、バス路線の再編に絡めた、新たな個別施策の一つとして、地域住民が主体となった「地域内交通」を導入。

## ○役割

タクシーなどの小型車両を使用し、地域内のニーズに応じたきめ細やかな運行を実施することで、医療機関、商業施設といった日常の移動手段となると共に、鉄道や路線バスといった既存の公共交通に結節させ、交通ネットワークを構築する。

## ○平成30年度実証実験

- ・実施主体
  - ・城南地区地域内交通運営委員会：運営主体、事業者への運行委託
  - ・前橋市：運行内容の検討、利用促進にあたっての取組み支援
  - ・赤城タクシー：運行受託、システム運用
- ・運行区域：城南地区
- ・運行期間：平成30年12月13日(木)～平成31年2月28日(木)  
※日曜日と年末年始(12月29日～1月3日)は運休。
- ・運行時間：午前8時30分から午後4時30分まで
- ・運行形態：ドア(自宅)ツー目的地型 デマンド運行 電話予約制



# 結果検証

## < 実証実験結果検証 >

①NTTドコモによる乗降者数データやODデータ及び予約キャンセル率等について検証

### 【結果概要】

- 乗車人員の1日最大数は27人、実験期間中の平均は12.5人/日
- 最も利用の多い時間帯は9時から11時まで、平日・土曜ともに利用傾向は変わらない
- 大型ショッピングモールや病院への移動が多い
- キャンセル率は、既存のデマンド（ふるさとバス・るんるんバス）と同等程度

②群馬県による実証実験利用登録者対象のアンケート結果分析

### 【結果概要】

- 回答者の約2/3が「今後の外出手段に不安を感じている」ことを参加理由に挙げている
- 普段の外出に困っていると回答した人の中で、タクシーの運賃が高いと感じている人が多い
- 導入によって、外出頻度が増えた（増えそう）と回答した人が約3割
- 運賃は、回答者の約9割が500円以内での利用を想定している